

令和8年度第1回宇部市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和8年7月30日（木）19時30分～21時15分
場 所：宇部市役所 3階 防災情報センター、3-3会議室

出席者：委 員 12名
事務局 24名
傍聴者 なし

- 1 宇部市健康福祉部長あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 会長の選出

議題1「令和7年度宇部市地域包括支援センターの事業報告及び 令和8年度宇部市地域包括支援センター事業計画（案）について」事務局から説明

「令和7年度事業報告のうち、特に力を入れた活動と課題について、またその課題に
対して令和8年度どう取り組むか」各地域包括支援センターから説明

- 〔 委 員 〕：認知症の周知を目的とした映画、「オレンジ・ランプ」の上映会には多くの
方が参加されており、自身も参加した。秋にはドキュメンタリー上映の予
定であり、多くの方に見ていただきたい。
- 〔 委 員 〕：それぞれの地域特性を十分に踏まえながら、工夫を凝らした取り組みが展
開されている。地域ごとに課題は異なるが、その地域だからこそできる活
動を積み重ねていることに敬意を表したい。
地域を取り巻く課題がますます複雑になっていく中で、地域包括支援セン
ターが中心となり、それぞれの地域の強みを活かした取り組みが継続的に
発展されるのを期待している。
- 〔 委 員 〕：事業計画で事業の継続性や新たな参加者の確保が課題となっているが、今
後の取り組みは。
社会的に問題になっているヤングケアラーへの支援の取り組みは。
- 【 事 務 局 】：地域のサロンに顔を出し、地域の状況を把握しながらアプローチしてい
る。今後、新しい場所にも顔を出しアプローチしていく。
- 【 事 務 局 】：ヤングケアラーについて、まだ取り組みはできていないが、福祉なんでも
相談員の役割でもあるため、今後、取り組んでいきたい。
- 〔 委 員 〕：多くの地域で「移動支援」が課題になっていると感じた。送迎付きで会を
開催しているところは負担が大きいと思うが、どのようにされているの
か、また「移動支援」という課題について、どのような支援があれば参加
者が集まりやすいと思うか。

【 事 務 局 】：包括で開催している介護予防教室は、法人による送迎がある。参加者に包括から連絡して、自宅近くのカスタムバス停等へ時間を指定し送迎している。そこまでしないと人が集まらない状況。

〔 委 員 〕：hope 事業について、利用者又は包括が苦労したことは。

【 事 務 局 】：hope の説明をしても、1 度では理解されないことがあった。
hope は三か月間の期間で終了するため利用しやすい。
認知症の方は hope なのかサービス利用なのか、判断が難しい場合もある。

〔 委 員 〕：hope で卒業できなかった理由と 3 月までに開始された方の「利用中」の理由は。

【 事 務 局 】：「利用中」は 3 月 31 日時点でまだ卒業されていない方。卒業できなかった理由は、途中で ADL が低下し入院された、または認知症の方。

〔 委 員 〕：学童や小中学校での認知症の理解促進活動での工夫点は。

【 事 務 局 】：小学校は高学年が対象、学童は全学年対象で、劇の形で参加してもらい、良い例・悪い例の事例を表した。体験型にしたことで分かりやすかったと思う。

【 事 務 局 】：高齢者と直接話をしたり、子どもたちから意見を出してもらう形で進めている。子どもたちも最初は恥ずかしがっていたが、楽しみながら高齢者と触れ合い、認知症を学んでいる。

〔 委 員 〕：どのくらいの頻度で地域に出向いているのか。
自分は小羽山でサロンを立ち上げているが、少し前から時々、包括の訪問が開始された。今後の訪問頻度は。

【 事 務 局 】：小羽山地区では、毎月 1 回、認知症カフェを継続して開催できるようになった。
包括の福祉なんでも相談員が毎月 1 回、民生委員と面会しており、サロンへも訪問したい。

議題 1 について承認

事務局より、報告事項について説明

(報告事項)

- ・第 10 期高齢者福祉計画における日常生活圏域について